

**私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。**

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		ワークセンター夢の樹			第三者評価受審年度	令和5年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況 (令和5年度末時点)	実施状況 (年度末時点)		
生活マップのあり方を検討し、統一した見解と使用の仕方を原点に戻り見直されることを期待します。	緊急連絡時や本人の生活状況、関係機関などを確認するために生活マップを活用しているが、書類の意味を理解し、活用している職員は一部に限られると感じる。事業所内で書類の意味や活用方法などの理解を深める取り組みが必要と感じる。	職員ミーティングなどで生活マップの意味や活用方法を改めて説明する。また、新たに入職する職員にはOJTの中でも説明していく。	生活マップの意味や活用方法を職員ミーティングなどで説明し、理解を深められるよう努めている。			
工賃の説明が全ての利用者にとってわかりやすく、モチベーションの向上につながる取り組みが期待されます。	毎月のメンバーミーティングでその月の工賃実績や工賃の仕組みを説明しているが、全ての利用者が収入に応じて工賃が変動する仕組みについて理解しているかは分からないのが現状である。質問などがあればその都度説明をしているが、より分かりやすい説明の方法を検討する必要があると感じる。	これまで通りメンバーミーティングなどで工賃の仕組みについて説明を行うとともに、モチベーション向上につながるよう、収入に応じて工賃が変動する仕組みを分かりやすく説明する方法を職員間で検討する。また、利用者から質問された際に、適切に回答できるよう、改めて工賃の仕組みを職員にも説明し理解を深める。	工賃の仕組みを説明する際に、利用者が質問しやすい雰囲気を作るとともに、モチベーションの向上や理解が深まる説明方法について検討を続けている。			
ICTの活用により記録の効率化や記録の保全など、多くのメリットが期待されます。	法人のファイルサーバーを利用し、利用者情報などのデータは共有されている。ケース記録など手書きやPCで作成されている書類に関して、将来的にはICTの活用を検討していく必要があると考えているが、法人としての取り組みが必要となる。	これまで通り、ファイルサーバーを活用し情報を共有している。ICTの活用については法人に中長期的に検討したい旨を伝える。	これまで通り、ファイルサーバーを活用し情報を共有している。ICTの活用については法人に中長期的に検討したい旨を伝えた。			

※この様式は、「〇〇市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。